

茨 城 労 働 局
栃 木 労 働 局
群 馬 労 働 局
埼 玉 労 働 局
発 表
平成 30 年 11 月 30 日

担 当	茨城労働局労働基準部監督課 課 長 瀧川 福実 電 話 029-224-6214
	栃木労働局労働基準部監督課 課 長 高橋 拓 電 話 028-634-9115
	群馬労働局労働基準部監督課 課 長 城詰美智晴 電 話 027-896-4735
	埼玉労働局労働基準部監督課 課 長 長澤 篤 電 話 048-600-6204

北関東の4労働局が合同で年末建設一斉監督を実施します

北関東の4労働局（茨城・栃木・群馬・埼玉）の管内における、平成30年の建設工事の労働災害は、死傷災害（休業4日以上）が1,049件（前年比4.9%減）と前年より減少していますが、死亡災害が24件（前年比9.1%増）と前年より増加しています。

（平成30年10月末現在 別添1参照）。

特に、年末・年始の時期は長期休暇を挟むこともあって繁忙期となり、さらに年度末に向けた工事量の増加も加わり、現場内での作業が輻輳するなど、建設工事における労働災害の発生が特に懸念される場所です。

このため、茨城労働局・栃木労働局・群馬労働局・埼玉労働局の4労働局において、合同で、平成30年12月3日（月）から12月14日（金）までの間、建設工事に対する一斉監督を実施し、年末・年始の時期における建設工事の労働災害の防止の徹底を図ります。

北関東 4 労働局における建設業の労働災害発生状況（平成 30 年 1～10 月）

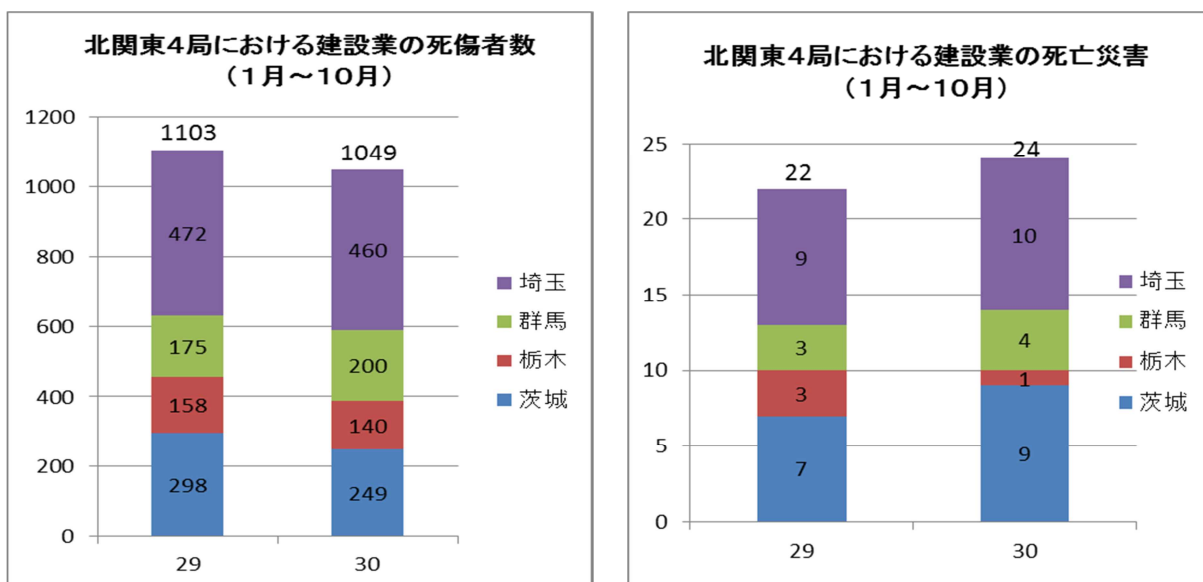
北関東の 4 労働局管内における建設業に係る平成 30 年の労働発生状況（10 月末日現在）をみると、労働災害（休業 4 日以上死傷災害）が前年比 4.9%減少となっていますが、群馬局のみ増加（14.3%）となっています。死亡災害が前年比 9.1%増加となっていますが、栃木局が 2 件の減少となっています。（グラフ 1）

労働災害発生状況における事故の型別の内訳をみると、墜落・転落災害が 31%と最も多く、以下、はさまれ・巻き込まれ災害（13%）、飛来・落下（10%）の順で多くなっています。（グラフ 2）

※全国における建設業の労働災害発生状況（平成 30 年 1～10 月）

死傷者数 11,444 件（前年比 3.2%増） 死亡者数 240 件（前年比 2.1%増）

グラフ 1 北関東 4 労働局管内における建設業の労働災害発生状況（死傷、死亡）



グラフ 2 北関東の 4 労働局管内における建設業の労働災害発生状況（事故の型別）

